の出版年代
大井次三郎

本邦の植物に関する FRANCHET et SAVATIER 兩氏の不朽の名著 Enumeratio Plantarum in Japonia Sponte Crescentium の出版年代は原著の表紙に記されてある通りに第一巻 1875 年、第二巻 1879 年と云ぶのが普通に使われて来たものであるが、東京植物學雑誌第四十巻 (1926) 365 頁に於て中井博士が "賞第一巻ハ共レデヨガ、第二巻ハ二部ヨリ成リ 1-506 頁ハ 1876 年版、507-789 頁ハ 1879 年版デアル" 事を指摘されて以来此処に従ふ人が可なりある様に見受けられる。同書の中には私関係して居る本邦のスゲの新種の発表等随分澤山あるので此の事については少からぬ関心を持ち居た、所が足ネコノメサカ類にも少々興味を持ち出す様に成ってからは一層切実な問題となつて来た。その為めに不手得若干調べて見た所思った よりは複雑で結局判らなくなってしまつたのであるが此処にその委曲だけを一寸述べて頂く事にする。


第二巻は中井博士によると二部から成るとの事であるが Botan. Zeit. (1878) 443 et (1879) 376 等によると三部から成つて居つて、第一部は單子葉植物から始まり羊

Nov. 1933.
歯類に於る名義の全部 (pp. 1-255) である。此部の年代は Botan. Zeit. l.c. et (1877) 568 によれば 1877 年又は 1876 年と成って居るが Botan. Jahresber. (1878: 2) 943 には 1875 年と成って居る。何れが真であるか判断のし様がないが恐らく 1877 年よりも前と思はれる。それから同じく Botan. Zeit. (1879) 376 には第二部及び第三部は各々 1878 年及び 1879 年の出版と成って居る。中井博士は (第二巻を二部から成るとされて居るか) 1876 年及び 1879 年と考えて居られる。しかし第二巻の 260 頁に Octobe 1876 とあるから實際の発行日はその後年以後であろう。此の二部と三部との区切りは調ただけの材料では一つも明瞭な點が見当らぬが中井博士は 506 頁と 507 頁との間にあると考えて居られる。又小泉先生からはかねて 624 頁と 625 頁の間で切れると伺つて居つたので何れが何れも誤り判らなかった。所が今春臺灣に旅行したとき臺北の正勅嚴敬氏の所蔵して居られる此の書が変な所で切れても居ると同氏に承ったので早速拜見した所、624 頁と 625 頁との間で切れて居るのであつて此の事は又最近に鈴木時夫氏に仰依頼して確めて頂いた。此れは小泉先生にお伺ひした所とよく合致するので恐らく此れが實際の区切り場所ではないかと思ふ。

尚最後に Bull. Soc. Bot. France 26 (1879) Rev. Bibl. 1. に全體の出版年代が 1874-1878 年と成って居るのは注目に値すると考へ、と云ふのは Enumeratio の第二巻の Index 727 頁に Les espèce précédées d'un * sont décrites dans une Note lui à la Société botanique de France, séance du 8 Novembre 1878 （實際は 28 Février 1879 日附の同誌に掲載）と云ふ記事があり、且つ * のついた種には頁数の引用がなければ此の Index は 1878 年の十一月までには校正が出来た事に成り、その部分迄少なくとも 1879 年の春前々までに或は 1878 年の年後には発行に成って居たのであると考へ居るからである。

此の様に出版年代は思ふたより是複雑して居て吾々若輩者には手に負へ相もないので一切は先哲の方々に解決して御領のを待つ事にす。終に色々と仰指導をたきはつた恩師小泉先生に厚く御拝を申上げる次第である。

抄 録